

「小動物臨床腫瘍学の実際」正誤表

訂正箇所	誤	正
75 頁 表 4-1 がんの部位の 8 番目の項目	肺	乳腺
192 頁左段 7 行目, 193 頁左段 16 行目	ツルニチソウ	ツルニチニチソウ
194 頁右段 32 行目	毒性に影響しないようではない.	毒性に影響しないようである.
543 頁 図 22-15	bioopsy forceps	biopsy forceps
545 頁右段 22-23 行目	鼻腺癌	鼻腔内上皮系悪性腫瘍
843 頁 図 32-25 の説明文	4 か月齢	14 か月齢
843 頁 図 32-25 および 844 頁の図 32-36 の説明文	単一のシクロフォスファミド治療後に完全に退縮した. 退行率がはじめ非常に遅かったときに,	シクロフォスファミド単回投与後に完全に退縮した. 退縮率が当初非常に遅かったため,
843 頁右段 6 ~ 9 行目	Thy- 1 と CD 4 の発現は, この疾患を分類する手がかりとなるが, この表皮ランゲルハンス細胞起源の皮膚組織球腫から発生した間質細胞起源のようである ^{4,9,11,38} .	Thy- 1 と CD 4 の発現により, 表皮ランゲルハンス細胞起源の皮膚組織球腫と, 間質細胞起源と思われるこの疾患とを, 区別することができる ^{4,9,11,38} .
845 頁左段 4 行目	皮膚組織球症と	皮膚組織球腫と

ここに訂正とともにお詫び申し上げます。